

~~現 認 書~~
~~事 実 証 明 書~~

該当しない方を2本線で消すこと

被災職員所属・職・氏名	〇〇高等学校・教諭・埼玉 太郎
災害発生日時	令和5年1月16日(月) 午前 11時25分頃 午後
傷病名	左足首捻挫、左手首捻挫

現認者又は事実証明の内容	被災当日、私は埼玉さんと一緒に、地下室に書類をしまうため廊下を歩いていました。
	地下に向かう階段を降りている時に、埼玉さんは階段から足を踏む外し、踊りまで転落してしまいました。
	うずくまったまま動けない様子だったので、「大丈夫か」と声をかけると「左足と左手が痛く動けない」と言ったので、付き添いながら保健室に行きました。
	その後、埼玉さんは仕事を早退し病院にいきました。
	翌日、埼玉さんが出勤してきたので様子を聞くと、左足首捻挫及び左手首捻挫と診断されたと言っており、左足首と左手首には湿布が貼ってありました。

現認者がどこで何をしていたのか、被災者との位置関係も記入すること

災害を実際に目撃した者が、実際に見た事実をそのまま記入すること

災害発生後の状況についても記入すること

現認しました。
上記のとおり
~~証明します。~~

令和5年1月18日

現認者又は
事実証明者の

{	所 属 〇〇高等学校
}	職・氏名 教諭・桜田 新一

備考 事実証明は、現認者がいないときに、報告を受けた上司等が、報告の内容、その後の対応、調査内容等について記載してください。

~~現認書~~
事実証明書

該当しないほうを2本線で消すこと

被災職員所属・職・氏名	〇〇警察署 巡査 富岡 蔵之介
災害発生日時	令和5年2月24日(木) 午前 7時50分頃 午後
傷病名	頸椎捻挫、胸部打撲

現認又は事実証明の内容	令和5年2月24日の午前8時15分頃、出勤して間もなく富岡巡査から電話がありました。
	内容は、通勤途中で事故に遭い病院に行くため、午前中は仕事を休むというものでした。
	事故の状況、負傷の程度を聞いたところ、交差点を通った際に、進行方向右側から来た自転車と衝突し、左肘と左足を痛めたとのことでした。当日は雪が降っており、相手方は路面でスリップしてしまっただけのことです。
	午後富岡巡査が出勤してきたので、本人から事故の報告を口頭で受けました。
	その時、富岡巡査の左腕にはギプスをはめられ、左足も少し引きずって歩いているようでした。
	その後、所轄の警察に事故の状況を確認したところ、事故の原因が相手方の雪によるスリップであり、富岡巡査にはほとんど過失がないとのことでした。

いつ、だれから、どのような方法で、どのような内容の報告を受けたのか具体的に記入すること

上司等が行った調査方法、調査内容、調査により判明したこと等も記入すること

~~現認~~しました。

上記のとおり
証明します。

令和5年2月28日

現認者又は
事実証明者の

{	所 属	〇〇警察署 警備部機動隊
	職・氏名	巡査部長・石野 剛達

備考 事実証明は、現認者がいないときに、報告を受けた上司等が、報告の内容、その後の対応、調査内容等について記載してください。